

長崎県公立高等学校PTA連合会

会報

第 87 号

令和 4 年 2 月 16 日
長崎県公立高等学校PTA連合会
長崎市竹の久保町12番9号
電話 095 (861) 3146
FAX 095 (861) 3147
印刷 川口印刷(株)
電話 095 (838) 2181

長崎県公立高等学校PTA連合会
令和三年度活動報告

各PTA会長の皆さんとリアルにお会いして交流を深めることを目指しましたが、定期総会・臨時総会が開催できませんでしたので、今年度の高P連活動をお知らせいたします。

理事会

(一) 第一回理事会・定期総会(紙面開催)

令和二年事業報告、令和三年事業計画、役員承認

(二) 第二回理事会

令和三年十月二十二日(セントヒル長崎)

上半期会計決算報告、高等学校等教育の充実に向けた教育懇談会、令和四年度九高P連長崎大会進捗状況、全高P連島根大会Web開催・九高P連鹿児島大会誌面開催報告

(三) 第三回理事会

令和四年一月七日(セントヒル長崎)

令和四年行事予定、役員・委員、高等学校等教育の充実に向けた教育懇談会報告

コロナ感染拡大により、鹿児島大会は誌面開催、島根大会はWeb開催になりましたが、県高P連では、感染防止に努

高P連会費について、生徒数が減少する中、今後の予定されている九州大会・全国大会の実施が難しくなる。来年度中に協議し総務委員会として提案事項をまとめる。

健全育成委員会

スマホの校内持ち込みについて現状と意見、一人一台端末の現状、成年年齢引き下げについて

調査広報委員会

広報紙コンクールについて、広報紙コンクールの審査

委員会報告

総務委員会
協議内容
定期総会スローガン
公費によるエアコン設置
地区研修会
高P連規約
高P連会費(特別積立金・基金会計)について

進路対策委員会

協議内容とまとめ
一人一台パソコンについて

地区研修会について、多くの地区が内容を変更しての実施、中止となった。コロナ収束後の研修会のあり方について引き続き協議する。

幼児家庭について、進路や将来について、気

を終え、優秀賞五・奨励賞二点を選出、優秀賞五点を九州地区広報紙コンクールに出展する。県高P連会報の発行について

従前は二回発行していたが、昨年からコロナ禍で一回発行している。生徒数減少から予算面で切迫している現状を加味すると一回発行でもよい。

広報紙作成ガイドについて、広報紙の内容は、PTA活動を通して、学校と生徒の活動をお知らせするという点でよいかと考える。九高P連委員会からの改定案が提示されてから再度検討する。

次年度への引き継ぎ事項
広報紙コンクールの実施
広報紙作成ガイドの改訂について検討

第六十六回
九高P連大会長崎がんばらば大会

期日 令和四年六月十六日(木)・十七日(金)

会場 出島メッセ長崎(長崎駅西口直結)

テーマ ともに学び・ともに育むPTA

分科会テーマ
第一分科会 青少年の健全育成とPTA活動
第二分科会 進路指導とPTA活動
第三分科会 ICTの活用と展望

講演
「夢持ち続け日々精進」
高田 明 氏(ジャパネットたかた創業者)

大会実行委員会(実行委員長 武藤剛 長崎西PTA会長)を組織して、準備を進めております。大会成功に向けてご協力をお願いいたします。コロナ感染状況を注視し、四月上旬に開催方針を決定しお知らせいたします。

なお、第一分科会にて、島原翔南高校育友会より研究発表が予定されています。



「一人一台パソコンの活用で高校の学びが変わる」
高校教育課 ICT 教育推進室

昨年七月までに県立高校全日制・定時制の生徒に一人一台パソコンを整備しました。夏休み明けから本格的に活用が始まり、現在、授業中に生徒がパソコンを開いて学習に取り組んでいる光景が普通になりつつあります。生徒が机の上に教科書、ノート、筆記用具を準備して教師の説明を聞き、教師が黒板にまとめた学習内容を書き写すという従来の授業風景が、今大きく変わろうとしています。

今回の一人一台パソコン整備の目的は大きく分けて二つあります。一つは、子どもたちが Society 5.0 と呼ばれる新たな時代を生きる上で必要な「情報活用能力」を育成することです。もう一つは、ICTを活用して授業のあり方を変革し、主体的・対話的で深い学びを実現することです。

現代社会にはさまざまな情報が溢れており、予測困難な時代を生きていくためには、情報を効果的に集めて整理する力や、目的に応じて処理したり発信したりする力が求められています。ICTの活用をおして、情報の確かさや価値を適切に判断し、新たな価値を自ら創造して他の人々に届けることのできる力を育成していきたいと考えられています。

また、パソコンの活用によって授業が大きく変わります。従来行っていたプリントの配付や提出、小テスト、黒板を使った説明等をパソコン上で行うことで効率化を図ることはもちろん、これまでになかった新たな学びの実現が可能になると考えています。例えば、遠隔会議システムを使って、学校外の人材と結んで直接話を聞いたり、他校の生徒と意見交換を行ったりすることができます。また、パソコン上で複数の生徒が共同作業し一つの資料や作品を作成することや、録画された授業動画やAIを搭載したドリル形式の問題等を活用して一人ひとりの習熟度に合わせた学習を行うことも考えられます。これらの学びを通して、学力の向上はもちろん、主体性や協働性など「学びに向かう力」や「探究する力」を育成することが期待されています。

一方で課題もありません。例えば、スマートフォンやパソコンを用いた誹謗中傷やいじめ等の情報モラルの問題です。高度情報化社会を生きる子どもたちには、個人情報やSNS等での発信する何気ない言葉が他人を傷つけ、それが半永久的に記録されてしまう危険性等についてしっかりと理解させる必要があります。また、ICT機器の過度の使用が、視力や姿勢の悪化、生活習慣の乱れにつながる場合もあります。今回子どもたちが学校や家庭で日常的にパソコンを使うようになったことを契機に、これらの問題についても家庭と学校が一緒に考えていかなければならないと考えています。子どもたちがどのような

な進路選択をしても、コンピュータやインターネットなどのICTと関わることなく生活することは不可能な時代です。また、現在の変化の激しい社会には多くの課題があり、その一員としてより豊かな社会の構築に携わるためには、学生時代からそれらの課題に主体的に向き合い、他と協働して解決を図る姿勢を身に付けることが求められます。コンピュータをはじめとするICTは、こうした課題解決にも欠かせないものとなります。社会に積極的に参画し、新たな価値を創造できる生徒の育成を目指したICT教育の推進に、PTAの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



遠隔授業を受講する宇久高校の生徒



パソコンを使って自分の考えをまとめる生徒



令和3年度

高等学校等教育の充実に向けた教育懇談会報告

テーマ 「教育県長崎」づくりを目指して  
「たくましく生きる」郷土長崎県の子どもを育てるために

日時: 令和3年11月12日(金)  
15:30~17:30  
場所: セントヒル長崎

- 一 教育活動への支援
  - ① 県費による普通教室へのエアコン設置の進捗状況
  - ② ICT機器設置等の教育活動の今後の整備計画とその進捗状況
- 二 今日的課題について
  - ① 一人一台タブレット端末の現在の活用状況と今後の方向性について
  - ② 十八歳成人について学校や家庭での対応

報告

一 教育活動への支援  
① 普通教室への公費によるエアコン設置について、令和元年度から要望してきています。

教育環境整備課長より「危険個所の改築改修を優先的に実施している。PTAのご理解により普通教室へのエアコン設置・活用がなされている状況のなか、児童生徒の安全・安心を確保するために、老朽化した校舎等の改築・改修や特別支援教育の推進など支援を要する児童生徒への対応を含めて、優先的に取り組みたいです。」

平田教育長より「エアコン設置について県議会でも質問があった。やれるものであればやりたいが、財源ねん出の答えが出ていない。県全体で考えていきたい。」との回答をいただきました。九州では長崎県を含め三県は私費で設置しています。今後も引き続き、公費による設置を要望してまいります。

② 一人一台タブレット端末の維持管理について  
教育環境整備課長、ICT教育推進室長より「通常使用時における故障や破損で、メーカー保証の対象とならない場合は

県で費用を負担する。二年目以降でのメーカー保証が過ぎた場合でも、県の備品であることから、修理費用は県で負担する。」との回答をいただきました。十月末現在で、四十三件の破損が起こっているそうです。生徒本人の故意または重大な過失による場合については、生徒・保護者の負担になります。取扱いについて、ご家庭でもご注意をお願いします。

平田修三教育長をはじめ県教育委員会の皆様と高P連役員が、リアルにお会いして、教育支援や今日的課題について、意見を交換し合い共通理解を図ることができました。

二 今日的課題について  
① 一人一台タブレット端末の現在の活用状況と今後の方針について、家庭での様子や教員の研修、今後の活用について意見交換を行いました。

タブレットの活用が始まったばかりですので、情報モラル教育を含め、今後の活用について保護者の皆様のご協力をお願いします。

② 本年四月一日より成年年齢が十八歳に引き下げられることから、一人で契約することができるようになります。子どもたちの被害防止・救済のためにも、これまで以上に消費者教育が重要になっています。学校では、消費者教育が行わ



九P鹿児島大会 第一分科会発表

校種を超えた連携：地域の子どものために  
小中高連携協議会を通して家庭・学校・地域のつながりを深める

西彼杵高等学校教育友会 会長 米山 昭一

本校は西海市大瀬戸町にあり、昭和二十三年に開校しました。教育友会では、「学校と家庭及び地域社会が一体となつて生徒の教養と福祉の増進を支援し、併せて本校教育の振興を図る」という目的を推進するために「総務」、「健全育成」、「進路対策」、「イベント」の四つの委員会を置き活動してきました。

近年の少子化で保護者の数も減り、育友会活動にも少なからず影響が出てきており、今年度、組織の見直しを行い「総務」と「イベント」の二つの委員会で活動を行ってまいります。

ただ、この少子化により可能となつた活動があります。それが、「大瀬戸地区小・中・高連携協議会」です。

大瀬戸町には四㎞圏内に小学校二校、中学校一校、高等学校一校があります。この会は、平成二十九年に大瀬戸地区小中学校の四校が「校種を超えて、一緒に子どもたちの成長を育んでいこう」ということを目標に発足した会です。

各校の校長、教頭、PTA会長、同副会長が集い、年間三回の会合で講演会と校内研修会をそれぞれ年一回計画し、開催しています。形に囚われず自由に活動できるようにするため、特に規約などは設けていません。

講演会は、保護者、児童・生徒、学校職員を対象とし、地域住民にも案内してあります。各校で課題となっている内容を話し合い、テーマを決め、講演会の計画を立てています。

校内研修会は、小・中・高の関係者(教職員、保護者代表)が一堂に会し、問題点や課題、連携のあり方などについて討議します。これは、校種を超えた教職員や保護者の親睦と融和を図る目的もあり、年に一回開催されています。感染対策のため、討議形態やリモート会議を用いた発表などを駆使しながら実施しています。

コロナ禍の中、今後の活動が危惧されますが、今後益々この協議会が充実し、子どもたちの健やかな成長につながることを大いに期待するものです。

講演会の様子 (広報誌より抜粋)



校内研修討議と発表の様子



トレンジャーハント



長崎県公立高等学校PTA連合会  
会長 小柳 義則  
(長崎東高等学校PTA会長)

ある時は横を向いた三尾のエビ。ある時はそろってガツツポーズ。またある時は三人繋がってかけっこ。さあ、これはいったい何のことでしょうか？

我が家の子どもたちが小さかった頃、並んで眠る三人が同じポーズをしていたことが度々ありました。「兄弟は寝ていてもこんなにシンクロするのか!」と驚かされましたが、これだけでなく通じ合っているところ、似ているところが多々あります。しかし、成長した彼らの興味関心や得意とするものはそれぞれで、専攻した学びも長男はレジャー、長女は法学と大きな違いがあります。

仮に、彼らの道を入れ替えると想像してみると、それはたとえ似たところのある兄妹であつても居心地の悪いものになるだろうと思われま

す。誰かにとっては最高の歩みも、他の人にとってはそうであるとは限りません。誰かにとっては最高の場でも、ある人にとっては苦しい場であることもあります。

世の中には我が家の子どもたち以上に異なる様々な個性を持つ子どもたちがいます。しかし、私たちの社会はその多様な個性のすべてにカスタマイズするよう仕組まれている価値観で定められた「標準」のようなものが多く沿うように生きることが多い場合求められます。「普通は」二みんは「みんな一緒に」という何気ない

言葉の裏で、痛みを感じている子はいないでしょうか？ 桜は桜、ひまわりはひまわり。道端に咲くタンポポは、綿毛となつても子どもたちを喜ばせます。秋にオレンジ色の小さな花をつけるキンモクセイの甘い香りの記憶は多くの人の中に刻まれているでしょう。替えようのないそれぞれのよき、輝きがあります。そして、一人ひとりの子どもたちにもあるかけがえのない個性。その芽をつぶさぬよう、その花がその花らしく美しく咲くように、私たちに出来ることは何でしょうか？

娘はニュージールランドの公立高校に通っていたのですが、そこでは五十近くの選択科目があり、ダンスや演劇、デザインやアウトドアなどもその一つとなっていました。他国の教育にふれる中で、子どもたちの可能性の方向、それを広げる方法は思った以上にあり、あらゆる興味関心の先に未来は広がりののだと改めて気づかされました。子どもたちの秘めている輝きの芽は想像をはるかに超えているのかもしれない。さあ、宝探しを始めましょう!

私たちも自分らしくそれぞれの場で、また、PTAとして共に輝きながら、子どもたちの輝きを守り育んでいこうと思えます。皆様方のご協力をお願い申し上げます。



### 全国高等学校PTA連合会団体表彰



校地清掃



文化祭炊き出し



耐寒競歩炊き出し

本校は、長崎県三大離島の一つ壱岐の島で、壱岐の北部にある壱岐商業高等学校です。学校は壱岐の自然に囲まれ穏やかでほんのり潮風が香る素晴らしい学校です。全校生徒は二五一名の学校ですが、明るく、元気いっぱいの子供ばかりです。自分がこの母校のPTA会長を務めるとは思いもせず今年までPTA副会長三年間、会長三年間を務めさせていただきました。毎年PTAでは文化祭に愛情うどのバザーや校内の校地清掃、壱岐地区公立高等学校PTA研修会、耐寒競歩大会の豚汁の炊き出しなどを二年前まで例年通り活動できていました。そのような中、まさか突然のコロナウイルス時代に困惑し学校もPTAも不安な日々がスタートで学校にも登校できないなど、コロナ禍の恐怖を味わいながら、子ども達のためにと考えPTA

### 全国高P連表彰御礼

壱岐商業高等学校PTA会長 脇田 良司

### 令和3年度 広報紙コンクール 審査結果

今年度は、コロナ禍の影響で十七単Pからの応募をいただきました。一月七日(金)に会長、調査広報委員、長崎新聞社、県教育委員会、事務局等十一名で、「目的・使命」「企画・内容」「編集・レイアウト」「見出し」の観点で審査を行いました。

いずれの広報紙も学校・単P活動の特徴を生かすとともに広報紙としての役割を踏まえながら、読み手に親しみやすいものにするなど、編集者の工夫やご苦労が伝わるものばかりで意欲的な取組が感じられました。

### 長崎県教育委員会賞(最優秀賞)

猶興館高等学校PTA 『雷峡』



### 長崎県公立高等学校PTA連合会会長賞(優秀賞)

口加高等学校PTA 『ともがき』

### 優秀賞

- 北松農業高等学校PTA 『鳴(しぎ)が丘』
- 佐世保北高等学校PTA 『ふくろうの庭』
- 長崎鶴洋高等学校PTA 『すいらん』

### 奨励賞

- 壱岐高等学校PTA 『喜応寺ヶ丘』
- 平戸高等学校PTA 『萌』(きざし)

### PTA役員は、大当たり!!

長崎鶴洋高等学校PTA会長 小畑 昭仁

本校は、水産科と総合学科を併設する単位制の高校です。校訓は、誠実・明朗・勤勉を掲げ、小高い丘に校舎があります。私たちPTAは、生徒たちの高校生活が充実したものとなるように日々先生方と協力してPTA活動に取り組んでいます。主な活動としては、四つあります。

① 校外パトロール(健全育成委員会) 学校近隣の各種イベントにおける校外巡視がメインですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で各種イベントが中止となり、学校での朝のあいさつ運動をメインに活動しました。登校時に生徒たちの表情を見ることで、生徒理解が深まりました。

② 模擬面接指導(進路対策委員会) 就職模擬面接への協力として、生徒への面接指導をしています。まだ子供だと思っていた生徒たちが、自分の考えでしっかりと将来を見据え

て話す姿を見ることができました。

③ 広報紙の発行(調査広報委員会) 広報紙「すいらん」を発行しています。学校行事などで写真撮影をし、生徒が活躍している姿を全会員に見ていただいています。

④ 学校行事での炊き出し(総務委員会) 球技大会や他の学校行事において、うどんの炊き出しを行っています。うどんをおいしく食べる姿を通して生徒たちの活躍を直接見ることができ

ます。本校PTAは、学期ごとに役員会を開催して保護者や先生方からの意見や相談を議題にして、情報交換を行っています。今後も全員参加型のPTAを目標に活動していきたいと思



あいさつ運動



うどんの炊き出し



学期ごとの役員会

### 祝

### 九州地区高等学校PTA連合会 鹿児島大会 表彰



大村工業高等学校育友会会長 戸田 健一



北松農業高等学校PTA会長 西山 芳幸

各種イベントの企画・立案をはじめ、教職員と保護者のまとめ役としても貢献された。子どもたちにできることは何か、常に試行錯誤され、工業祭時のバザーやジョギング大会での飲み物提供等、コロナ禍の中での活動に尽力された。

学校発展のため、生徒のため尽力された。農業祭バザーやマラソン大会ちゃんこ鍋炊き出しなど、保護者の先頭に立ってPTA活動の活性化に貢献された。学校・生徒・保護者一体となったスマホ持込に関するルールづくりに努められた。

### 祝

### 全国高等学校PTA連合会 島根大会 個人表彰



川棚特別支援学校PTA会長 田川 三洋



佐世保東翔高等学校PTA会長 八並 学

学校行事や会議等積極的に参加しながら、学校活性化とPTA活動に貢献された。「おやじの会」や「親子レクリエーション」の活動を通して、先輩保護者として子ども達や保護者を育てられた。

会長として4年間PTA活動をけん引された。特に、挨拶運動、文化祭バザーなど新規事業に取り組みされた。県北地区活動の活性化、市内中学校PTAとの連携・交流にも取り組み信頼も大きかった。



コラム



山縣 雅義

成年年齢の引下げについて

民法が改正され、二〇二二年四月から成年年齢が十八歳に引き下げられることになりました。そのため、来年から高校三年生は誕生日からは法律上成人として扱われることとなります。

既に対応を公表している県内の自治体では二十歳(はたち)の集いで開催するようです。各自自治体ではその理由として、成人が十八歳になっても酒喫煙は二十歳のまま変わらないこと、十八歳の時は多くが受験や就職があり時間を取りにくいこと等を挙げています。

今だからこそPTA活動

長崎県教育庁生涯学習課

会員の皆様方におかれましては、日頃から各単位PTAの様々な活動に際し、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

発な意見交換がなされた地区もありました。各地区的実態に応じた多種多様な形式での実施に加え、会員の積極的な参加もあり、成功裏に終了しました。参加者からは、協議や講師の先生から得られた子育てのヒントを通して、今後のPTA活動の指針となるものを掴めたと感想をいただきました。

昨年年度中止となった各地区のPTA研修会は、今年度は六地区で開催されました。ある地区では、コロナ禍での活動報告など実践発表がありました。別の地区では、レジリエンスを育むことで家庭教育の在り方を考える講演会がありました。

感染拡大を経験し、先が見通せない状況をどう打開していけばよいか、解決すべき課題は山積みにあります。予測困難な社会の到来に大人が歩みを止め、躊躇している場面があるようにも思います。すべての子どもが健康やかにそして逞しく成長していけるよう、学校、家庭、地域それぞれの場面で私たち大人が全力で支えていく姿勢を持つことが強く望まれています。

令和3年度 長崎県公立高等学校 PTA 連合会 役員

Table listing PTA executives for fiscal year 2021, including roles like Chairman, Vice-Chairman, and various regional representatives.

地区別研修会報告

長崎地区

期日・会場 十一月二十九日(月)セントヒル長崎 長崎地区PTA秋季地区会として実施

諫早・大村・東彼地区

期日・会場 十一月四日(木)ミライオン図書館

島原地区

期日・会場 十一月二十七日(土)ホテル南風楼

佐世保地区

期日・会場 十一月十三日(土)佐世保市労働福祉センター

五島地区

期日・会場 十一月二十三日(火)五島高等学校

対馬地区(小中高合同PTA研修大会)

期日・会場 十一月十四日(日)対馬市公会堂

事務局だより

今年度は、新型コロナウイルス感染症状況から定期総会を紙面、リアルに集まるとの会を、委員会二回、理事会三回開催し、運営・活動を行ってまいりました。

令和四年度 高P連関係の主な行事

- 県高P連定期総会 六月二日(木)
長崎県庁大会議室ABC
九高P連大会 長崎大会 六月十六日(木)・十七日(金)
出島メッセ長崎
全高P連大会 石川大会 八月二十五日(木)・二十六日(金)
金沢市

県高P連ホームページ

http://www.nagasaki-koupren.org/